

平成30年度 建設業女性就業者座談会 (技術者・技能者)

主催：(一社)愛知県建設業協会・中部地方整備局・(株)建通新聞社

開催日時 平成31年1月29日(火) 9:30~12:30

開催場所 愛知建設業会館 3階会議室

次 第

1. 開 会

2. 挨拶

(一社)愛知県建設業協会 専務理事 大西 克義

3. 座談会

出席者	大島造園土木(株)	川北 真伊
	(株)オノコム	ウリエル・ガリード・ガデア
	瀧上工業(株)	菊地 麻耶
	徳倉建設(株)	村田 史子
	トヨタ T&S 建設(株)	久名木 侑紀
	(株)乃一	谷崎 祐子
	(株)村田工業	村田 由里

司 会 (株)キャリアエラ 代表取締役 倉橋 和世
(キャリアコンサルタント)

4. 講 評

中部地方整備局建政部 建設産業調整官 黒田 良一
(一社)愛知県建設業協会 労務委員長 高橋 輝明

5. 閉 会

主催者出席者

(株)建通新聞社報道部 部長	澤田 久仁昭
(一社)愛知県建設業協会 上席	石崎 政彦

愛建協・中部地整・建通新聞

建設業女性就業者座談会

愛知県建設業協会(藤本和久会長)と国土交通省中部地方整備局、建通新聞社は29日、名古屋市内で「働きやすい建設業に変わるために」と題して、建設業女性就業者座談会を開催した。土木や建築の施工管理、鉄骨検査の第一線で活躍する女性の技術者・技能者7人が一堂に会し、働きやすい就業環境などについて意見を交わした=写真。



と比べ会社側も一緒に考え、臨機応変に対応してくれるようになった」などの意見があった。

「女性が働きやすい環境」については、「その場その場がむしゅらにやってきました。ただ、頼めることは頼むことが必要。

「働きやすい建設業」で意見交換

「現場の管理職として一人前と認めてもらえていないのか不安なところがある」といった不安を吐露する意見もあった。

当日は、同協会の大西克義専務理事があいさしし、中部地方整備局の黒田良一建設産業調整官と同協会の高橋明秀専務委員らが講師した。(詳細は後日掲載)

「働きやすい建設業」で意見交換

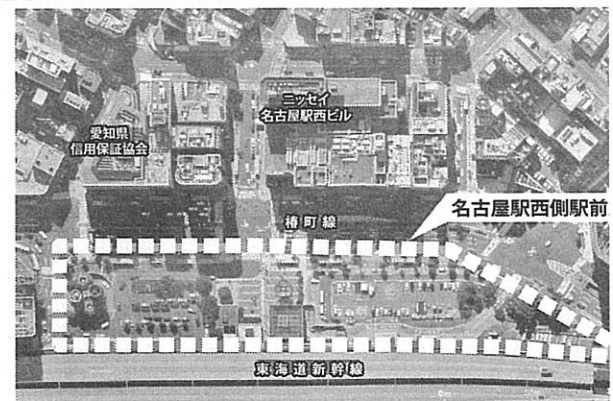
「休日の取得状況」について、「1日1日も取らなければいけない休日は1カ月ほど前から現場の状況を踏まえ計画的に取得する」「法律や社内規定で網羅できないケースは、個々それぞれの状況に合わせて上司者などと調整している」「依然

「防災・減災、国土強靱化」の推進に関する関係府省庁連絡会議が29日に開かれ、5月下旬にも「国土強靱化年次計画2019(仮称)」を策定することを決めた。

「現場の管理職として一人前と認めてもらえていないのか不安なところがある」といった不安を吐露する意見もあった。

「現場の管理職として一人前と認めてもらえていないのか不安なところがある」といった不安を吐露する意見もあった。

国土交通省は、昨夏に発生した大規模な自然災害の被害状況を受け、水災害・地震対策を強化す



杉の森川連行日と沼取ナリとミナモト橋前 加工の帝京学教授の福井恒明氏、名古屋市の立大教授の伊藤恭行氏の3人。森川教授は、西側地区について、駅前広場や高層ビル、ツアールバス乗降場、椿町線との地下アクセス道路、タクシー・一般車のスペースと、全ての機能を盛り込むためには、現在の西側駅前広場空間だけでは困難だと指摘した。その上で、例えば東京駅八重洲口に進められている民間の再開発で地下空間にバスターミナルを整備する事例を紹介。西側の民間建物と連携した再開発を行うこと

伊藤教授は、東側も決して広いとは言えず、顔となるオフィスなどの配置は難しいのではと、与条件をゆめゆめ使う人を主役にする場所づくりをしていへべきと述べた。また、駅東側と西側のまちのつくり方が

関係府省庁連絡会議

国土強靱化年次計画

5月下旬にも策定

「防災・減災、国土強靱化」の推進に関する関係府省庁連絡会議が29日に開かれ、5月下旬にも「国土強靱化年次計画2019(仮称)」を策定することを決めた。

「防災・減災、国土強靱化」の推進に関する関係府省庁連絡会議が29日に開かれ、5月下旬にも「国土強靱化年次計画2019(仮称)」を策定することを決めた。

「防災・減災、国土強靱化」の推進に関する関係府省庁連絡会議が29日に開かれ、5月下旬にも「国土強靱化年次計画2019(仮称)」を策定することを決めた。

「防災・減災、国土強靱化」の推進に関する関係府省庁連絡会議が29日に開かれ、5月下旬にも「国土強靱化年次計画2019(仮称)」を策定することを決めた。

国土交通省は、昨夏に発生した大規模な自然災害の被害状況を受け、水災害・地震対策を強化す